

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



炉開き(ろびらき…椿)

3学期がスタートして1週間が経ちました。子ども達は、学校生活のリズムを取り戻し、学習や生活に取り組んでいます。能登半島の地震で、多くの人たちが犠牲になられたり、厳しい避難生活を送ったりされています。できることで支援をしたいという気持ちと、日常生活が当たり前ではないことを感じます。これまで通りに学校生活が続けられ、美味しい給食をいただけることに感謝します。

これから学年末に向け、有田っ子にとって安心・安全な有田小学校を継続していきます。

全校で人権集会を行いました！

先週の金曜日(12日)に、延期していました人権集会を行いました。今回も、各学年で人権について考え、人権宣言を書いたり、6年生が劇で表現したりしました。

各学年の人権宣言には、友達に対する思いやりのことばや行動について、「いっしょに遊ぼう」や「ふわふわことばをつかいます」、「相手の立場に立って行動します」等、これからどうしていくかが書かれていました。書いたことを各学級で実践していくことが大切だと考えます。



放送・計画委員会の司会で、手話による「おもいやりのうた」を合唱後、人権宣言を発表しました。

また、6年生が演じた劇「ぼくの腕」では、片腕を失った友達への思いやりや妬み、いじわる等、周りの子ども達の気持ちの変化を見事に表現し、観ていた5年生以下の子ども達が、何がいけないことか、これからどうすれば良いかを考えるきっかけとなりました。演じた6年生が自分たちのこととして、これからも相手を思いやることばかけや行動ができることを期待します。



片腕のない大志に対し、初めはやさしかった友達がやっかみからいじわるをするようになり、一人でつらい思いをする場面

劇後の感想交流では主人公の大志に対する周りの友達のことばや行動を取り上げ、どうすべきかを発表しました。また、代表委員会で話し合った、各学年で取り組む思いやりの行動も紹介できました。

今回の各学年の人権宣言は、玄関横の階段の壁に掲示しています。有田っ子がこれからもお互いのことを思い、相手が喜ぶことができるよう、学校教育の中で教育育てていきます。どうぞ、ご家庭や地域でも互いの人権を守り差別を許さない風土をつくっていきましょう。子どもは、大人の背中を見て育つと言います。我々、大人が子ども達の手本となる言動を心がけたいものですね。

人権集会の最後に、世界の子供達と日本の子供達の今を紹介し、持久走大会で6年生が見せた、最後のランナーに伴走するという姿を取り上げました。全校92人の少数精鋭の有田っ子だからこそ、互いの絆を深め、相手が喜ぶことができることをめざします。小規模校の有田小学校の特長であり、子どものすばらしさこそが、152年間の伝統ある学校として末永く生き残る術だと考えます。



体育館に掲示している「未来は君たちの手に」から、子どもの人権の大切さと、有田っ子が大切にすることを伝えました。

あいさつを自分からする有田っ子へ！

私が有田小学校に赴任して以来、自分からあいさつができる有田っ子をめざしています。それは今年も引き続き、有田っ子のすばらしさとして高めていきたいと思えます。3学期の始業式で、生活指導の担当、加藤先生が子ども達の記憶に残る良い話をしました。皆さんに紹介するとともに、これからも有田っ子のあいさつが地域の方々々に元気を与えられるよう、呼びかけていこうと思えます。

あいさつができるようになるポイント ①

あ あいてを見て

あいさつができるようになるポイント ②

い いつでも
どこでも

あいさつができるようになるポイント ③

さ さき

あいさつができるようになるポイント ④

つ つづけて

あいさつは、大切なコミュニケーション能力であり、相手と仲良く、笑顔なる魔法のことばです。

今年も子ども達の見守りをよろしくお願ひします！

始業式の日集団下校を行い、防犯ふれあい隊の方々に来校して頂きました。防犯ふれあい隊の方々には、暑い日も寒い日も雨の日も有田っ子の登下校を見守って頂いています。今年で20年目の活動になるそうです。また、メンバーの中には90歳になられた方や、子ども達の元気なあいさつを楽しみに立って頂いている方もいらっしゃいます。皆様に心より感謝します。ありがとうございます。ご自愛をいただき、これからも宜しくお願ひします。



子ども達への新年のあいさつと、千両や南天、黄梅の展示をして頂きました。